

オーラルセッション

13:30～16:30

会場：7号館 13階 有山登メモリアルホール

司会：福島 千里（スポーツ健康科学部 特任助教）

開会あいさつ 学長 代田 浩之
JASMSの活動について 機構長 鈴木 大地（大学院スポーツ健康科学研究科 教授）

《第1部》「連携」が生み出す新たな成果

13:45～14:25

座長：副機構長 北出 真理（大学院医学研究科産婦人科学 教授）

スポーツイベントの満足度を高める参加型改善(スポーツPAOT)の実践報告
山田 泰行（スポーツ健康科学部 准教授）
日本人の若い低体重女性の多面的な背景検証：ダイエット経験に着目して
室伏 由佳（スポーツ健康科学部 先任准教授）

《第2部》ハイパフォーマンス・トランスレーショナル・リサーチ拠点（HPTRC）の活動報告

14:25～15:15

HPTRC設置の意義と期待
拠点長 和氣 秀文（大学院スポーツ健康科学研究科 教授）
アスリート脳の機能解析とトレーニング技術の開発
山中 航（大学院スポーツ健康科学研究科 准教授）
腸内細菌叢タイプ別に持久力向上に有効な物質の特定と食品の探索
鈴木 良雄（大学院スポーツ健康科学研究科 教授）
厚底シューズが身体に及ぼす影響と障害予防に関する研究
高澤 祐治（医学部スポーツ医学研究室 先任准教授）
AI体操採点支援システムを応用した次世代型トレーニングの開発
原田 睦巳（大学院スポーツ健康科学研究科 教授）

～休憩～

《第3部》クロストーク「ハイパフォーマンス研究はトップアスリートに何を示せるか？」

15:25～16:20

アスリートゲスト
萱 和磨（セントラルスポーツ所属／パリ2024オリンピック 体操男子団体 金メダル／2024年博士後期課程修了）
村竹 ラシッド（JAL所属／パリ2024オリンピック 陸上男子110mハードル 5位入賞／2024年卒業）
本学研究者
山崎 一彦（スポーツ健康科学部 教授）
柳谷 登志雄（大学院スポーツ健康科学研究科 教授）
水口 暢章（スポーツ健康医科学推進機構 特任准教授）
ファシリテーター
機構長／副拠点長 鈴木 大地（大学院スポーツ健康科学研究科 教授）



萱 和磨 選手



村竹 ラシッド 選手

閉会あいさつ 副機構長 北出 真理（大学院医学研究科産婦人科学 教授）

懇親会

17:30～19:00

会場：7号館 2階 食堂

ポスターセッション

16:45～17:30

会場：7号館 2階 食堂

※第3部の開始までオーラルセッション会場に掲示します。

- P-1 片脚レッグプレスにおけるVelocity Based Trainingの適用
青柳 壮志（スポーツ健康医科学推進機構 博士研究員）
- P-2 体操競技における音響学的特徴 —音カメラによるパフォーマンス分析—
浅野 恵子（医学部一般教育外国語研究室 教授）
- P-3 体操競技におけるAI体操採点支援システムの精度評価と競技への応用に関して
石川 美里（大学院スポーツ健康科学研究科 博士後期課程1年）
- P-4 高齢野球競技者における腱板断裂の有病率と肩関節痛の割合および関連因子の検討
井上 拓海（大学院医学研究科 博士課程3年）
- P-5 Training load (運動負荷) に着目した新たな外傷・障害発生リスク予測指標の開発
—サッカーにおける外傷・障害予防戦略—
河瀬 麻希（スポーツ健康科学部 協力研究員）
- P-6 スポーツ・運動実践の無関心層を対象とした動機づけ情報の探索および評価
川田 裕次郎（スポーツ健康科学部 准教授）
- P-7 愛媛マンダリンパイレーツへのシーズンを通じたコンディショニングサポート
窪田 敦之（スポーツ健康科学部 先任准教授）
- P-8 幼児期の運動遊びおよび運動能力に関する研究
黒川 優介（スポーツ健康医科学推進機構 研究支援者）
- P-9 スポーツの早期専門化が身体的成長に与える影響の検討『エリートジュニア選手と一般小・中学生の比較』
西郷 吉証（大学院医学研究科 博士課程3年）
- P-10 アスリートのパフォーマンス向上に向けた腸内環境層別化研究
鈴木 良雄（大学院スポーツ健康科学研究科 教授）
- P-11 日本代表デフサッカー選手におけるスポーツ外傷・障害の発生状況
染谷 由希（スポーツ健康科学部 准教授）
- P-12 肢体不自由者のスポーツ実施における障壁に関する研究——内的社会障壁に着目して
高田 侑子（大学院スポーツ健康科学研究科 博士後期課程3年）
- P-13 大学男子陸上長距離ランナーにおける大腿骨Bone stress Injury
谷川 あおい（大学院スポーツ健康科学研究科 博士後期課程3年）
- P-14 ハムストリング肉ばなれ後に生じる心理的要素の定量化に向けて
富樫 維親（大学院医学研究科 博士課程3年）
- P-15 成長期野球選手の障害予防『PSE Challenge-守って鍛えて上手くなる』
中村 絵美（保健医療学部 助教）
- P-16 若年アスリートの相対的エネルギー不足に関する探索的研究
奈良岡 佑南（大学院医学研究科難病の診断と治療研究センター 博士研究員）
- P-17 走動作におけるAIの三次元解析法に関する精度の検証と向上方法の検討
野呂 啓晃（大学院スポーツ健康科学研究科 非常勤講師）
- P-18 Distinct Gut Microbiota Profiles in Children: Exploring Diversity, Structure, and Functional Links with Physical Fitness and Physical Activity
潘 祥（大学院スポーツ健康科学研究科 博士後期課程1年）
- P-19 Physical Literacyと身体活動：大人の行動変容と親のPLが子供に与える影響
松永 美咲（大学院スポーツ健康科学研究科 博士後期課程3年）
- P-20 大学生アスリートにおける呼吸筋ストレッチ体操（セルフストレッチング）の即時的効果の検討：ランダム化比較試験
松野 圭（医学部呼吸器内科学講座（医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター） 准教授）
- P-21 3000m障害走における日本記録保持者のハードリング動作の特徴
柳谷 登志雄（大学院スポーツ健康科学研究科 教授）
- P-22 外的および内的な運動開始のタイミングと心周期の関係～ベストスタートパフォーマンス発揮に向けた基礎研究
山中 航（大学院スポーツ健康科学研究科 准教授）